



発信年月日：平成29年9月20日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1234
経済観光部 成長戦略推進課	石本 徹	松岡 裕史		FAX 0837-22-6345
件名	地域観光プランニングカレッジの開催について ～長門湯本温泉×深川萩焼～			

長門湯本温泉では、長門湯本温泉観光まちづくり計画に基づき、魅力的な温泉街にリノベーションし、「全国温泉地ランキング TOP 10」を目指すこととしています。

魅力的な温泉街を生み出す6つの要素の一つ「文化体験」では、長門湯本温泉に隣接する三ノ瀬地区の萩焼深川窯の伝統と評価の高い芸術性は訪れる観光客にとって大きな魅力であり、地域ならではの文化を体験できる貴重な地域資源です。

この度、日本建築学会に設置された地域観光プランニングカレッジ小委員会（主査：首都大学東京 岡村准教授）では、三ノ瀬地区の深川萩焼とその窯元集落を重要な地域資源として設定し、長門湯本温泉と深川萩焼の Win-Win 関係を構築するプロジェクトに取り組むため、以下のとおり合宿形式のフィールドワークを実施します。

是非、取材いただきますようお願いします。

記

1 フィールドワークの概要

- (1) 期間：平成29年9月24日（日）～9月26日（火）、27日午前解散
- (2) 場所：長門湯本温泉、三ノ瀬地区（深川萩焼の里）
- (3) 主催：日本建築学会 地域観光プランニングカレッジ小委員会
（主査：首都大学東京 岡村准教授）
- (4) 後援：長門市、長門市教育委員会（予定）
- (5) 参加者：観光に興味のある学生や地域づくりの専門家など 約30名
- (6) 発表会：平成29年9月26日（火）湯本温泉旅館協同組合2階会議室

※発表会当日は、萩焼深川窯や旅館関係者など、地域の方々を招いてプレゼンを行う予定です。

2 地域観光プランニングカレッジ

日本建築学会の小委員会として、研究者と実務者が議論し、公共性や公益性を重視してきた都市計画・まちづくりの方法や進め方と、事業性を重視してきた観光事業の方法や進め方を融合した「新・観光まちづくり」のあり方を研究。この知見を、観光に興味ある学生や、地域づくりの専門家、地域で観光に関わるビジネスに関心のある市民の方とともに学ぶ場として、「地域観光プランニングカレッジ」を開催。

問合せ先：岡村 祐（首都大学東京） okamura.u@gmail.com

●スケジュール

日程	時間	内容
8/21		趣旨・課題説明、事前調査課題の提示
9/2		現地事前調査
9/14		事前調査成果共有・中間講評
9/24	1300 1330-1400 1400-1600 1600-1700 1700-1735	フィールドワーク開始、現地集合 ガイダンス まち歩き 学生ファーストインプレッション 事前課題発表
9/25	900-1000 1000-1500 1500-	学生提案・発表 グループワーク・調査 プレゼン・提案まとめ作業
9/26	-1100 1430-1545 1545-1730 1900-	プレゼン・提案まとめ作業 最終発表会（発表＋質疑応答） ディスカッション 終了
9/27	1200	フィールドワーク終了、解散

●事前学習

- ・三ノ瀬・萩焼の歴史文脈の調査（筑波大学）
- ・長門湯本温泉の観光地ライフサイクル検証（大分大学）
- ・山口県広域観光の現状とポテンシャル（山口大学）
- ・陶磁器産地の産業・観光振興事例調査（首都大学）
- ・公共空間での陶器活用（和歌山大学）

●小委員会・委員リスト

日本建築学会都市計画委員会 地域観光プランニング小委員会

主査 岡村 祐	首都大学東京 都市環境学部自然・文化ツーリズムコース 准教授
幹事 川原 晋	首都大学東京 都市環境学部自然・文化ツーリズムコース 教授
委員 石川 宏之	静岡大学イノベーション社会連携推進機構 准教授
泉 英明	有限会社ハートビートプラン
泉山 墨威	東京大学先端科学技術研究センター 助教
伊藤 弘	筑波大学大学院 人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻 准教授
内海 麻利	駒沢大学 法学部政治学科 教授
海津 ゆりえ	文教大学 国際学部国際観光学科 教授
佐野 浩祥	金沢星稜大学 経済学部一部 准教授
永瀬 節治	和歌山大学 観光学部 観光経営学科 准教授
永野 聡	三重大学地域創発センター 講師
西川 亮	日本交通公社研究員
姫野 由香	大分大学 工学部福祉環境工学科・建築コース 助教